



- 安全を確保し、より危険を回避するために、以下の点について幼児・児童・生徒に指導を行うとともに、各家庭にも周知ください。
- 1 ミサイルが発射された場合
 - (1) 幼児・児童・生徒が在校（園）の場合
 - 校舎等に避難する。
 - 窓から離れ、机の下の潜るか、廊下や床に伏せて頭部を守る。
 - 安全が確認されるまで、校内で待機する。
 - (2) 幼児・児童・生徒が在宅時等の場合
 - 窓から離れるか、窓のない部屋（場所）へ移動する。
 - 机の下に潜る、布団に潜る、床に伏せるなどして頭部を守る。
 - (3) 児童・生徒が登下校中の場合
 - 近くにある建物や地下に避難し窓から離れる。
 - 近くに建物がない場合は物陰等に身を隠すか地面に伏せて頭部を守る。
 - 車は燃料のガソリンなどに引火する恐れがあるため、車から離れたところに避難する。
 - 2 ミサイルが着弾した場合
 - 近くにミサイルが着弾した場合、屋外にいる場合は口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。
 - テレビやラジオ、インターネット等を通し情報収集に努めるとともに行政からの指示があればそれに従って、落ち着いて行動する。